

発行 大竹辰治事務所

日本共産党 区議会控室

大田区蒲田5-13-14

電話 5744-1477

事務所 大田区西蒲田5-9-12

電話 3735-2611

自宅 大田区東矢口3-11-19

電話 3736-4202

E-mail: tootake@apricot.ocn.ne.jp

http://www10.ocn.ne.jp/~tootake/

日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート

ご意見・ご要望をお寄せください



くらし・営業優先で

好循環・持続可能な予算に

大竹辰治区議は、第4回定例会（11月29日）で質問しました。

まず、区は被災地支援に全力をあげてきたが、被災地を支援するはずの復興予算が京急蒲田駅の駅前再開発に使われている。復興予算に使うように国に意見をあげるべきと求め、区長はコメントする立場にないと答えました。

また、地方自治体の役割を発揮し区民の命、くらしを守る防波堤として、区民の痛みを和らげる施



策と削減された事業の復活を求める。特に、いきいき高齢者入浴事業を昨年度の規模に事業を戻し、

寿祝金・百歳以上長寿者祝金事業も縮小される前の規模に事業を戻すべきとの求めに、いきいき高齢者入浴事業は、継続的に利用できるようにするため月々の利用回数も設けた。寿祝金・百歳以上長寿者祝金事業は引き続き贈呈すると答えました。

さらに、区民本位でくらしと営業を守ることで、歳入増にもつながり、持続可能な区政になる。区は、多額の予算がともなう大型開発は中止・見直すべきと求めに、将来を見据え、必要な施策を選択し、バランスよく財源配分すると答えました。

尊厳ある生を全うするための介護保険に

利用料金の軽減制度について、現在ある制度を活用するため、区民への周知徹底と事業者負担がないように改善を求める。また、低

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
お気軽にご利用ください（毎月第2水曜日）

1月9日(水)

午後1時～3時

場所 大竹辰治事務所（西蒲田大城通り）

事前にお電話ください ☎ 3735-2611

所得者へ減免制度を区独自で拡大することの求めに、今後わかりやすい周知に努める。また、事業に参入いただいている事業者から助成金を支給して、事業者の負担軽減と新規参入の促進を図っていると答えました。

また、特養人ホームを待機者に見合う基盤整備計画を策定し、建設を区が責任を持つてすすめるべきとの求めに、今年3月と5月に2施設、144床を整備した。今後在宅サービスの施策の充実を図ると共に、入所が必要な高齢者のため、引き続き特別養護老人ホームの整備に努めると答えました。

党区議団が提出 予算要望書と緊急要望



松原区長に予算要望書を渡す党区議団

日本共産党区議団は、11月19日、松原区長に予算要望を提出し、大竹幹事長が重点項目を中心に説明しました。区長と同席した野田副区長は「来年度の予算は例年以上にきびしい。5%マイナスイ算を2年続けたが、これ以上は難しい。財源は入ってこないし、区民の要望は強く大きく、落差をどのように埋めていくのが課題。事務方が現在最終の詰めに入っている」等々と答えました。

区議団は防災、検診、地域産業、高齢者などの願いに答える予算にするようにと要望しました。

また、党区議団は昨年11月15日、松原大田区長に対し、「区内地域経済振興のために住宅リフォーム助成制度拡充を求める緊急要望」および「区民の暮らしと営業を守るための越年対策に関する緊急要望」を提出しました。遠藤副区長が応対しました。

自然エネルギー視察 鳥取県北栄町

11月8・9日と鳥取県北栄町と大阪市に視察に行ってきました。今回の目的は北栄町では再生可能エネルギーとそれにもなう雇用確保、仕事おこし。大阪ではビジネスマッチングを調査しました。北栄町は風力発電で有名な町です。担当課長から説明を受けましたが、課長の息子さんが、大田区の久が原に住んでいることが分かりとても親近感がわきました。

風力発電の概要は1・5MWの風車が9基、ドイツ製で年間2万3900MWとなり6600世帯分に相当するので、町の5227世帯を上回りますが、すべて中国電力

へ売電することになっています。

事業費が28億円（国の補助7億円、地方債20・5億円）で、売電の収入は2・5億円（年）でしたが、今年7月から全量買い取り制度に変わり4・5億円へとなる見込みが、故障が多く管理運営費が約2億円で、起債の返済金を合わせて3・5億円の予算を組んでいるので、収入が上回る分は住民に還元できると話されました。

説明のあとの質疑応答で、そもそもきっかけは平成の大合併で北栄町（北条町と大栄町）が誕生し、北条町の町長さんの英断で当時の税収入が約30億円なのに、20億円の借金で風車を9基つくることになったそうです。

雇用と地域経済効果では、風車を建設するときには地元の業者もかわったことがあるそうですがメンテナンスはドイツ製のため仕



事は特定の代理店のみであり効果がありませんでした。国産にすれば多少変わるかもしれません。

また、今回の視察した風車は全長103m。国産で小型化することによって大田区の町工場への部品発注などが考えられるのではないかと思います。

リフォーム助成が 補正予算で拡充

第4回定例会に提出された補正予算に、リフォーム助成拡充の補正予算1000万円が組まれました。第3回定例会で党区議団の質疑に対し、本予算2000万円のうち1700万円余が活用され、それにもなう経済効果は工事費だけで3億6000万円であることが明らかにされました。同制度は深刻な経済情勢のもとで大田区の地域経済を支える上でも貴重な役割を果たしています。

その後、予算額を超える申し込みがありキャンセル待ちになっていることから、党区議団は11月15日区長に対し補正予算を組むことを要望していました。